

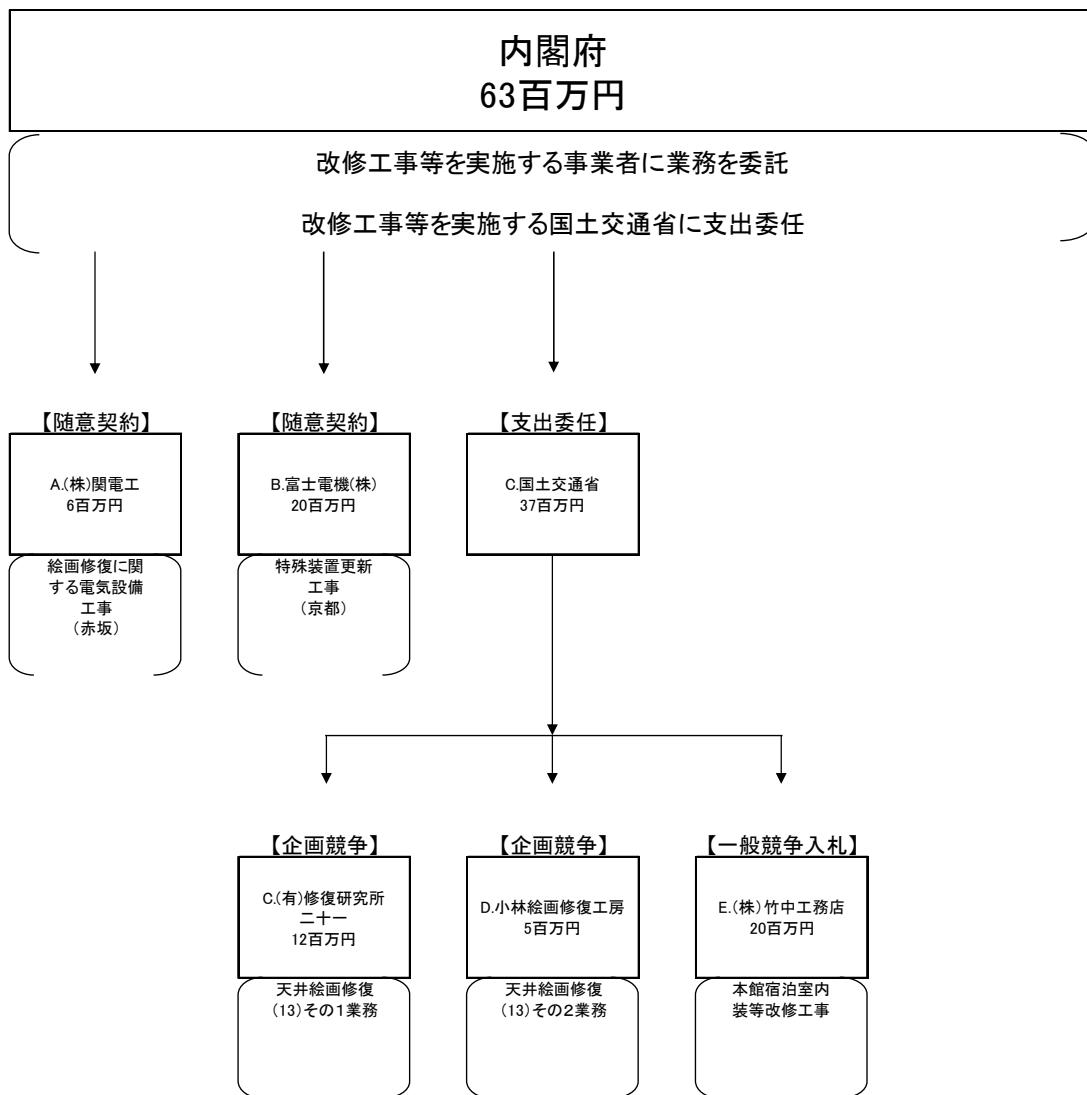
平成27年度行政事業レビューシート( )

内閣府

事業名	迎賓館施設整備に必要な経費			担当部局庁	迎賓館			作成責任者	
事業開始年度	昭和54年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	庶務課			庶務課長 春山 勝	
会計区分	一般会計			政策・施策名	-				
根拠法令(具体的な条項も記載)	官公庁施設の建設等に関する法律			関係する計画、通知等	官公庁施設の建設等に関する法律第九条に基づく営繕計画書				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	赤坂迎賓館は、昭和49年の開館より40年以上が経過しており、建築、電気、機械設備については一部改修を行っているものの経年劣化が進み、故障等が頻繁に発生し、また部品等の調達も難しくなっており、接遇を実施するに当たり重大な支障が生じる恐れがある。また、京都迎賓館では、開館から10以上が経過し、既設置済み設備の部品の調達が困難となっており、接遇を実施するに当たり重大な支障が生じる恐れがある。そのため、接遇体制に万全を期するために必要な改修工事等を実施。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	赤坂迎賓館の天井絵画について、試験修復の成果を活用し修復事業を実施。また、宿泊室の内装等について、経年劣化の建具等の改修を実施。京都迎賓館に既設置済み特殊装置の更新工事を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	97	100	141	139	582		
		前年度から繰越し	53	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	59	64	21	74	-		
		予備費等	▲ 64	▲ 21	▲ 74	-	-		
		計	-	-	-	-	-		
	執行額	145	143	88	213	582			
執行率(%)	142	125	80						
98%	87%	91%							
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	
	-	-		成果実績	-	-	-	-	
	-	-		目標値	-	-	-	-	
	-	-		達成度	%	-	-	-	
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック		
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標を設定できない理由	定量的な目標が設定できない理由							
	定量的な目標を設定できない理由及び定量的な成果目標	迎賓館施設としての機能を維持するために必要となる経年劣化等の不具合による改修等であるため。							
	定量的な目標を設定できない理由及び定量的な成果目標	緊急度、不具合の頻度(耐用年数)等を考慮した、必要最小限の改修等を目標としており、従来より適切に実施してきている。今後も迎賓館施設の機能を維持するために必要最小限の改修等を行っていく。							
事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	
	各国賓客の招待外交の表舞台に相応しい施設としての機能を維持するため、接遇等の予定に支障のないよう中長期的な整備計画に基づき、当該年度に合致した施設の整備の実施割合	当該年度に合致した施設整備の実施割合		実績	件	-	-	5	-
				目標値	件	-	-	5	4
				達成度	%	-	-	100%	-
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	経年劣化等の不具合による迎賓館施設の改修工事		活動実績	件	7	2	5		
			当初見込み	件	-	-	5	4	
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額/件数		単位当たりコスト	百万円	20.3	62.5	16	34.8	
			計算式	/	142/7	125/2	80/5	139/4	
平成27・28年度予算内訳(単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	工事費	139	582	「新しい日本のための優先課題推進枠」276 赤坂迎賓館本館朝日の間改修工事の増80 京都迎賓館電話通信機器更新工事の増52					
	計	139	582						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	国公費の接遇で使用する施設であるため、国で維持管理を行う必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	同上		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	同上		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先等については、支出委任をしている国土交通省で一般競争入札を行っており、競争性の確保、コスト削減に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	同上		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	専門的な知識及び技術を要するため、一般競争入札に適さず随意契約(企画競争)となってしまうものについては、作業内容の精査等を行うことで事業の適正化を図っている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか	- ○	同上		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか	-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	国公費等の接遇を適切に行うため必要な改修工事等を実施している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	同上		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	支出先の選定は、支出委任先の国土交通省において一般競争入札を行うことにより競争性の確保をし、コストの削減にも努めている。また、専門的な知識及び技術を要するため、一般競争入札に適さず随意契約(企画競争)となってしまうものについては、作業内容の精査等を行うことで事業の適正化を図っている。改修工事は工事の範囲を必要最小限にとどめつつも、接遇の際に支障がないよう改修を行う必要がある。			
	改善の方向性	国費等の接遇の実施に伴う支障がないように今後も順次施設の改修、整備を進めていく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	事業の有効性・効果について適切に検証するとともに、予算の効率的執行に努め、国費等の接遇に支障が生じないように施設整備計画に基づいた概算要求を行うこと。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	事業内容を適切に検証し、予算の効率的執行に努めたうえで、国費等の接遇に支障が生じないように施設整備計画に基づいた概算要求を行った。				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	0003	平成23年度	0155	平成24年度	0149
平成25年度	0142	平成26年度	0141		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

費目・用途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と用途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.(株)関電工			E.(株)竹中工務店		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	絵画修復に関する電気設備工事(赤坂)	6	施設整備費	本館宿泊室内装等改修工事	20
計		6	計		20
B.富士電機(株)			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	特殊装置更新工事(京都)	20			
計		20	計		0
C.(有)修復研究所二十一			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	天井絵画修復(13)その1業務	12			
計		12	計		0
D.小林絵画修復工房			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
施設整備費	天井絵画修復(13)その2業務	5			
計		5	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)関電工	絵画修復に関する電気設備工事	6	随意契約	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士電機(株)	特殊装置更新工事(京都)	20	随意契約	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)修復研究所二十一	天井絵画修復(13)その1業務(平成25年度国庫債務負担行為歳出化)	12	随意契約	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	小林絵画修復工房	天井絵画修復(13)その2業務(平成25年度国庫債務負担行為歳出化)	5	随意契約	-

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)竹中工務店	本館宿泊室内装等改修工事	20	1	-

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック